

## ■ 新庁舎建設基本計画（中間報告書）市民説明会 開催報告書

### 1. 開催概要

目的	新庁舎建設基本計画策定委員会の現時点における成果について、市民に向けた中間報告会を行い、合わせて、市民意見の反映を図ることを目的にパブリックコメントを実施する。
日時	平成26年5月11日（日）10：00～【約120分】
場所	男女共同参画センター（アミュービル4階） 会議室1・2

### 2. 参加者

参加者人数： 男性 8名、女性 7名 合計 15名

事務局 市：企画部長、新庁舎建設室長、新庁舎建設室2名 計4名

コンサルタント会社：（株）ニュージェック2名

### 3. 進行内容

時間	内 容
10：00	開催あいさつ
10：10	中間報告書説明
10：30	質疑・回答
12：00	閉会

#### 4. 主な質疑内容

質疑内容	回答
基本計画策定委員会の構成を教えてください。	建築関係等の有識者4名、都市計画審議会や商工会など公共的団体の代表者3名、一般公募市民5名の総数12名です。昨年12月から現在まで5回の会議を開催しました。今年の11月まで合計12回の委員会を開催する予定です。
基本計画策定委員会からの中間報告内容は、今回の中間報告のどの部分になるのか。	今回報告をさせていただいている中間報告書内容が、策定委員会からの中間報告内容になります。
基本計画策定委員会としての中間報告書であれば、今回の説明会に委員は出席しないのか。	今回の説明会は、委員会事務局の新庁舎建設室が説明を行う形を取らせていただきました。
中間報告書に対して、市民から寄せられた意見を今後の計画策定に反映させるとすれば、出席してしるべきだと思う。委員の基本理念に対する思いを聴かせてもらいたかった。	もっともな意見だと思いますので、委員会にご意見を伝えさせていただき、今後策定する最終答申に向けて検討をさせていただきたいと思います。
新庁舎建設は、できるだけ多くの市民の意見を集約することが大切だと思うので、市報に新庁舎建設のスペースを確保して進捗状況をポイントだけでも報告することはできないか。 出来る限り多くの人の目が届く方が、最終的には良いものができると思う。	市民の皆さんの意見をどれだけ取り入れることができるかということは、常日頃考えています。市報についてはスペースの問題もあるので検討させていただきます。これまでも何度か特集を組んでお知らせをしています。ホームページについては、市のトップページから新庁舎建設の関係を分かりやすく表示しています。
紙面にページ制限があるのであれば、別紙をつくることは出来ないのか。	市のお知らせとしては各戸配布の市報が、一番効果が高いと思います。しかし、市報にはページ制限があり、優先順位を付けて紙面構成をしています。新庁舎の問題は重要課題ですので、毎回決まったスペースを割けるか検討をさせていただきたいと思います。
基本計画策定の途中経過でも概算工事費を出すことは出来ないのか。	概算工事費については、昨年6月に策定した市庁舎耐震化整備方針の中で示しており、耐震補強をする場合は約23億円、建て替えの場合は約30億円です。 面積で申しますと耐震補強の場合は現在規模同等の約5,200㎡、建て替えの

質疑内容	回答
	<p>場合は7, 500㎡です。現在策定している基本計画の中で庁舎機能が決まってくるので、もう少し精度の高い概算費用を算出することができると思います。</p>
<p>最終報告書では事業費、工期、支払い計画などが明らかになるのか。</p>	<p>策定委員会で引き続き検討を行い、事業費、整備手法、財政計画を含めて最終報告を行います。</p>
<p>11月で基本計画を策定するには、今回の中間報告書では情報が不足している。費用面での情報が出せなかったのだろうか。</p>	<p>来年度以降に設計を進めていくので、費用の詳細はその段階で算出していくことになるが、策定委員会における今後の検討の中で、基本計画においても概算で費用は算出します。</p>
<p>中間報告書に予算的な内容が出てこないが、委員会の中で意見はなかったのか。</p>	<p>最終答申内容で、費用的な部分も含めて、全てをまとめて説明することが分かりやすいと思いますが、できるだけ早い段階で公表して、市民の皆さんに計画内容をお伝えして、いただいた意見を計画に反映させることが今回の中間報告の趣旨です。 今までの議論の報告なので、分かりやすくするために、費用的な部分を省いた訳ではなく、費用的なことの検討はこれから議論を行います。</p>
<p>建築計画が東京オリンピック開催時期と重なるが、費用の高騰が予想される。財政計画上どの様に考えているか。</p>	<p>ご指摘のとおり、既に人材不足や原材料の高騰は問題化しています。市議会からも同様の質問がされていますが、現在のスケジュールで社会状況を鑑みながら慎重に進めていきたいと考えています。</p>
<p>財政が一番大切なので、建設費が落ち着く東京オリンピックの後で建設することはできないのか。</p>	<p>現在でも建設費の高騰は懸念されており、これからもその点は十分に議論していかなければならないことですし、策定委員会でもその認識がありますので、社会情勢に合わせて柔軟に対応をしていきたいと思っています。</p>
<p>防衛省の補助はあるのか。</p>	<p>先進他市の事例で基地がある場合には例があると思います。</p>
<p>庁舎の耐震診断は小中学校の耐震化を終えたことで着手したのか。</p>	<p>小中学校の耐震化を最優先で取り組み、平成22年度までに完了しました。その後、平成23年度に市庁舎の耐震診断を行い、平成24年度に昭和56年以前の旧耐震基準16施設の耐震診断を行いました。耐震診断の結果、耐震性能不足が明らかになった学童クラブ、老人いこいの家については、平成25年度に改修を行いました。 現在、耐震性能不足が明らかな施設は、目標とした構造耐震指標（I s 値）0.</p>

質疑内容	回答
	<p>75に満たなかった、市庁舎、野塩地域市民センター、下宿地域市民センターの3施設です。このうち、野塩・下宿の地域市民センターは、I s 値が、地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低いとされる0.6以上を確保していますが、市庁舎は一番低いところで0.43の部分があるため、優先して対応を行うことを公共施設耐震化整備計画として策定しました。</p>
<p>野塩・下宿の両地域市民センターの耐震改修が市庁舎よりも後になることで、市民は不安を感じていると思うが、地域の人たちは了解しているのか。</p>	<p>両地域に限定した説明会は開催していません。公共施設耐震化整備計画の中で両センターについてもまとめて説明をしました。</p> <p>市議会においては、両センターの早期耐震化のご意見をいただいております。野塩地域市民センターはI s 値0.6、下宿地域市民センターはI s 値0.67備えており、一般に崩壊する危険性が低いとされているI s 値0.6以上を確保しているため、安全は確保されていると考えています。</p> <p>現庁舎はI s 値0.43であるため、崩壊の危険性があるとされており、災害対策本部を置く建物であるため優先的に整備する必要があります。公共施設耐震化整備計画で優先順位を決めさせていただきました。</p>
<p>現庁舎を耐震補強した場合、構造耐震指標（I s 値）はいくつになるのか。I s 値目標が達成できないから建て替えるのか、防災センター機能などを取り込むので建て替えなければならないのか。</p>	<p>現庁舎を耐震補強してI s 値目標0.75を確保することはできます。</p>
<p>新庁舎の目標とする構造耐震指標（I s 値）は0.9以上か。</p>	<p>防災センター機能を有するため、I s 値0.9以上を目標としています。</p>
<p>小中学校の構造耐震指標（I s 値）はいくつか。</p>	<p>公共施設全般はI s 値0.75以上を目標としています。</p>
<p>第2期の増築棟の目標構造耐震指標（I s 値）は0.9以上か。</p>	<p>第1期・第2期ともにI s 値0.9以上を目標としたいと考えています。</p>
<p>建て替え中の庁舎機能の継続の仕方はどの様に考えているのか。</p>	<p>現在の計画では敷地南側の来庁者駐車場に第1期工事を行い、完成後、現庁舎から機能を移転して、第2期工事で現庁舎の解体を行い、会議室等を主とした別庁舎</p>

質疑内容	回答
	を増築する計画です。工事期間中市庁舎機能に支障が無い様に進めていく予定です。
<p>防災センターと本来の行政機能を分けて建築した場合、行政機能のみの建築物は構造耐震指標（I s 値）をどの程度に目標設定するのか。</p>	<p>防災センター機能を有するためにはI s 値0.9以上確保しなければなりません。仮に防災センター機能を有しない場合は、避難所等同様に0.75以上を確保することを基準としています。</p> <p>このI s 値の違いは、0.9以上とした場合、構造体の補修をすることなく建物が使用できる強度であり、0.75以上とした場合は、構造体の大きな補修をすることなく建物が使用できる強度とされています。</p>
<p>第2期工事の内容について伺いたいですが、防災センターは第1期工事で行われるのか。第2期の建築物の内容と、それぞれ階数と構造はどの様な考えでいるのか。</p>	<p>第1期工事では、市庁舎機能をできる限り取り込みたいと考えているので、防災センター機能は含まれます。第2期工事では、不足している会議室、書庫など直接的に業務に関わらない内容を考えています。</p> <p>現庁舎が敷地東側隣地に現行不適格な日影を生じているので、現在の高さである5階以上の建物は計画できないと思います。</p>
<p>第2期の増築棟に地下階を設置するのか。工事費への影響が大きいと思う。</p>	<p>地下の有無については、基本計画策定の中で検討していきます。現在お示ししている概算費用は、新庁舎建設の先進地の実績を元に必要面積を掛け合わせて算出していますので、新庁舎に地下を有している事例もありますが、具体的なプランに合わせて算出した費用ではありません。</p>
<p>第1期工事中の来庁者駐車場は何処に確保する予定か。車で行く人が多いと思うので、十分な台数を確保していただきたい。</p>	<p>敷地周囲の空地进行して現在の駐車可能台数を確保したいと考えています。</p>
<p>現在の計画では、平成32年度まで防災センターができないことになるが、その前に大規模災害があった場合はどうするのか。</p>	<p>直ぐにでも耐震化を促進したいが、財政計画や、設計等の手順に時間を要するので、災害が発生しないことを願う他が無い状況です。</p>
<p>説明会の参加者は市民代表ではないので、この様な少ない参加者に対して説明会を開催したことで説明責任を果たしたと感しない欲しい。</p>	<p>昨年実施した市民説明会の参加者は多くなかったと思います。今後も市報やホームページなどを通じて、色々な意見を出せるような方策を検討したいと思います。その他に現在、市内の公共施設に意見投函箱を設置しています。</p>

質疑内容	回答
<p>市民説明会の開催で、市民への説明責任を果たしたと思わないで欲しい。</p>	<p>市民説明会をただやれば良いとは思っていません。やるからにはより多くの市民の皆さんに参加いただきたいと思っています。検討の余地があると思いますので、努力していきたいと思っています。</p>
<p>職員アンケートと市民世論調査の概要を教えてください。</p>	<p>職員アンケートについては、職員の立場から新庁舎の在り方を提案することを目的に、嘱託職員を含めて750人程度を対象に現在調査中です。回答率は30～40%程度です。</p> <p>世論調査は3年に1度実施しており、7月に実施する予定です。千世帯を対象に行い、前は6割の方が回答をしてくださりました。内容は市政全体に関わるものであり、その中に新庁舎に関わる設問を組み入れる予定です。</p>
<p>職員アンケートの対象が750人程度で、世論調査の対象が千人程度と説明があったが、3年に1度毎回同人数で統計を取っていることと思うが、重要な案件なので、世論調査の対象者を増やすことは考えられないのか。</p>	<p>世論調査は隔年で行い、統計を見る目的もあるので、今回だけ対象者を増やすことは難しいです。</p>
<p>市民ワークショップの内容を説明して欲しい。</p>	<p>第1回目を4月上旬に開催しました。中間報告書にある基本理念につきまして、参加者を公募して、10名の皆さんに参加いただきました。</p> <p>現庁舎の課題を見出し、新庁舎に望まれる機能を議論してから、基本理念に新庁舎に望まれる機能を分類しました。市民ワークショップは、最終報告に向けて再度開催したいと考えています。</p>
<p>市民ワークショップへの参加方法を教えてください。</p>	<p>市報やホームページなどで公募を行いたいと思います。</p>
<p>新庁舎建設基本計画の策定は何時ごろになるのか。今年度のスケジュールを教えてください。</p>	<p>庁内組織として、部長職による新庁舎建設庁内検討委員会を設置しています。その下部組織として作業部会を設置したところです。</p> <p>4月上旬には市民ワークショップを開催しました。本日開催の市民説明会が中間報告内容のための説明会になります。市議会に新庁舎建設耐震化特別委員会が設</p>

質疑内容	回答
	<p>置されており、この中間報告書について説明を予定しています。職員アンケートを現在実施しており、今後集計を予定しています。</p> <p>市民アンケートは世論調査として7月に実施する予定です。パブリックコメントは、今回の中間報告について、5月1日から30日まで行っており、最終報告は10月頃に行う予定です。</p> <p>新庁舎建設基本計画は、策定委員会から素案を11月に答申いただき、その後、市として基本計画を策定する予定です。</p>
<p>先進地視察は行ったのか。</p>	<p>職員は実施しています。策定委員会では6月に実施予定です。</p>
<p>公共施設の耐震化を推進する一方、狭あい道路沿道の木造住宅の耐震診断、耐震改修は予算の組み方が少ないと思う。利用件数が少ないということだが、市民にとって利用しやすい制度になっていないと思う。民間住宅等に対する考えを聴きたい。</p>	<p>緊急輸送道路沿道については、市としても対策を進めています。民間住宅の耐震化助成費用対応については、私人財産に対する公費の取扱いに関わりますので、この場で申し上げることはできません。</p>
<p>民間住宅等の耐震診断助成は国費補助があると思うので、市費のみの負担でなければ、もっと助成を増やしてもいいと思う。</p>	<p>耐震診断助成費の増額の件は、ご意見として伺います。</p>

## 5. 参加者アンケート

意見内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画策定委員が説明会に出席しない（させない）ことに疑問がわきました。</li> <li>・工事時期についてはオリンピックの後とするように。</li> <li>・野塩・下宿地域市民センターの工事を先にするべきと考える。（住民に説明すべきと考える）</li> <li>・防災拠点は市民の住居近くが望ましい。</li> <li>・市民の多くが意見を出せるように市側の努力が不十分に思える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これを作った人の思いなども聞かせて欲しかった。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中間報告書内容に予算に関する情報が何故無いのか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市報やアンケートについて「出来ない」という返答が先で工夫が感じられない。</li><li>・ 新庁舎の工事が始まってからでは遅いので、計画・設計の段階で何度も市民に提示していかないと、何十年も使用する建物に不都合が出ては困る。</li><li>・ 防災のため、再生エネルギー、雨水利用は最近の自然変動を考えれば必ずやって貰いたい。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 庁舎建て替えは一大関心事です。将来を見据えて誰もが使いやすい魅力ある建物にしてください。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自転車置場の面積を現在よりも増やして欲しい。</li><li>・ 銀行ATMを市役所庁舎外の敷地に残して欲しい。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 歩道の整備をして欲しい。</li></ul>

以 上